

市長	副市長	収入役	部長	課長	参事	課長補佐	係長	記録

【所属名：市民部環境生活課市民生活係】
【会議名：男女共同参画推進委員会】

<input type="checkbox"/> 開示	
<input checked="" type="checkbox"/> 一部開示	(理由:条例第7条第2号 該当)
<input type="checkbox"/> 不開示	
<input type="checkbox"/> 時限不開示	(開示: 年 月 日)

糸魚川市男女共同参画推進委員会会議録

(令和6年度)

日	令和6年8月30日	時間	13:30~15:10	場所	市役所204会議室
件名	第1回 男女共同参画推進委員会				
出席者	【出席者】 8人(以下敬称略) 伊藤洋子、富永範子、楠田優子、水上康子、磯野茂、水嶋聡、田中昌美、塚田ちひろ 【欠席者】 2人 笠原翔太、嵐口三由樹 【事務局】 環境生活課 木島課長、赤野係長、土沢主査				
	傍聴者定員	3人	傍聴者数	0人	

会議要旨

<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ(井川副市長)</p> <p>3 正副委員長選出</p> <p>4 概要説明</p> <p>(1) 男女共同参画推進委員会について</p> <p>(2) 第3次いといがわ男女共同参画プランについて</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>5 審議事項</p> <p>(1) 進捗状況について</p> <p>基本目標 I</p> <p>【主な質疑・意見等】</p> <p>(委員)</p> <p>学校教育の場で、「平等になっている」と回答する人の割合が低いことに驚いた。現場ではそういった教育はしていない。学校教育を受けた年代の違いによるものなのか。子供たちにアンケートを採ってみるとまた違う結果になると思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>令和2年当時のデータになるが、「平等になっている」という回答で一番割合が高いのが18歳から29歳。年齢が上がるほど割合が低く、70歳以上の方では39%ということで大きな差がある。来年度市民アンケートを予定しているが、市民意識や世の中の傾向がどう変化してきているかとい</p>

う部分を捉えていきたい。

(事務局)

アンケートは、18歳以上の市民の方から1,000人を抽出する。人口に占める男女比であったり、年代別の人口比率で無作為抽出するのだが、市の人口構成を考えると、年齢が高い方が多いことから偏りがあるのかもしれない。学校現場での意識も若い人ほど平等だと感じ、また年齢が上がればいやいやそこまではいかないというような意識の差は出てきているのかなと思う。どういったら正確なアンケートが採れるかを研究していきたい。

(委員)

“自治会長に占める女性の割合”っていうのもずっと横ばいで、感覚的にはもうちょっと上がってきててもよさそう。結局、地区ではあんまり役員のなり手が変化していない。世代交代はおそらく行われているのでしょうけど、区長ではなくとも女性が参画しているのかどうか、もしその状況がわかったら教えていただきたい。

(事務局)

地区の内情までは分からないが、PTAの役員などは近年女性のなり手が多くなってきているというのは聞いている。地区においてはまだまだ村の長老的な感じの人が仕切って運営しているところが多く、女性の進出がまだうまくいってないのかなというのは感じる。

(委員)

改善していければいいなと思う。私達の地区では5～6年ぐらい、区長の下に女性の代議員が2人ぐらいいた時期があった。いいなと思っていたら、任期が終わった後、いつの間にか男性ばかりになっていた。女性の代議員が活躍しやすい状況というか、そういうものがなかったのではないかなと。女性の代議員が多ければ活躍しやすいし、活躍しやすい状況を区民の人も協力して持続していければと思う。そういう環境でないと、もうやりたくないわってなる。草刈りの人足もあり、そういった部分の男女差はある。

(事務局)

実際、女性が区長を務められている区は、戸数も少なくなり、女性だけの家庭だからといって配慮ができない、否が応にも順番で回ってくるというような区の印象がある。例えば、会計は女性の方が務めているとか、そういうところも多いはずなので、指標のとり方として、区長に占める女性の割合等々になっていることについて、全体の役員構成というところでも考えていきたい。副市長のオリンピックのお話にもあったが、やはりどうしても1人2人だと何か活躍できるような場面っていうのも少ないし、肩身の狭い思いというものもあるかなと思うので、地域の方にも男女平等の観点から、女性委員の選出ということを積極的に呼びかけていただけるようお願いしていきたい。

(委員)

自治会長に占める女性の割合に関連するが、年齢的なところも調べていただけるといいのかなと思う。今の年代の方たちは、女性が家庭の仕事をするのが多くて、夕飯を作って夜の会議なんて出ないみたいなのところもあると思うのですが、もしかしたら若い世代の男性も忙しいので、そんなやっつけられんわみたいなの人もいるんじゃないか、女性に限らずいるんじゃないかなっていうところで、務められている人がどういう年代でどういう仕事があったりだとか、生活の中で可能になっているのかっていうのを調べていただけるといいのかなと思った。

もう一つ、家庭生活で「平等になっている」という回答のところ、男性では年齢が下がるに

つれて「女性の方が優遇されている」と回答する割合が高いってというのが面白いなと思っていて、どういところで優遇されていると感じるのが分かるとより参考になるかなと思った。

(事務局)

男性では、18-29の年代、30-39の年代、40-49の年代、この三つの階層で「平等になっている」とする回答割合が高く、それ以外は男性女性ともどの年齢層においても、「男性の方が優遇されている」となっている。それ以上の細かい分析はされていないが、興味深い点でもあるので、そういった部分も観点の一つとしてアンケートの採り方にも注意していきたいと思う。

基本目標Ⅱ

【主な質疑・意見等】

(委員)

経営者枠での参加になる。私の場合、普通の職場ではなく本当に男性が多いところ。現場に出ればトイレであったり男女の問題は普通に存在するが、行くか行かないかっていう女性側の意識、そこでも仕事をしたいかしたくないかの意識の問題だと思う。今はやりなさいと言われることはなく、自分でやれるって思うところに行っている。大事なのは男女っていうことの意志だと、どんな場面でも感じる。経営者や班長とか、上の人が思いやりをもって身体的なことを思ったりすれば、平等って言葉じゃなくても丸く感じる事ができればいいのではないかなと思う。私はそういうところに飛び込んで仕事を覚えてこれまでやってきた。自分がつらい思うときや我慢するときに、そういう気を使ってくれる人がいて育ててもらってきた。周りの思いやりが一番大事で、それを感じてもらえるよう、結果として現れるようどう意識を上げていけばいいかと話を聞いていて思った。

(委員)

“男性は仕事、女性は家庭を中心とする方が良い”の「そう思わない」の回答が減っていてちょっと怖いと思う。東京都が調べたものになるので一概に比較はできないが、出産を機に女性が仕事を続けていた場合と辞めてしまった場合で世帯年収の手取りが2億違うという記事を見た。それを知っていたらなかなか辞めないと思うんですね。知らないがために、自粛じゃないですけど、女性が勝手に終わった方がいいのかなって何となく判断していることも多いんじゃないかなと思う。こんなに違うというのを知らせることができたら、判断する時女性だけじゃなくて男性も働いてほしいみたいなにもなるかなと思っていて、そういう情報提供が出来ればいいのかなと思う。

あと、時間外勤務時間も男女でどうなのかなというところがあって、やっぱり子供もいるし定時で帰らなきゃいけないっていう女性も多く、男性の方が比較的やろうと思えば残業はしたくないかもしれないが出来てしまう環境で、そもそも労働時間が違う状況で成果だけで比べられてしまうと女性も難しいのかなっていうふうにも思うので、そこの男女比みたいなものも分かるとありがたいなと思う。

(事務局)

時間外勤務時間は男女でどうしても違いが出てくると思う。次回アンケートでは、項目自体は変わらないが、内訳として男女比も拾えるような形を検討したい。

(事務局)

さきほど、委員がおっしゃったことってすごく大事なことだなというふうに思いながら聞かせていただいた。女性が社会に出て働き続けるということになると、ハード面での整備、例えばトイレや更衣室というところでどうしても目が向きがちだが、ソフト面での気遣いというか、雇用主の配

慮や周辺の同僚の方の配慮っていうことも女性が働き続けるには励みになる部分として大きいのかなと思う。そういった面での市民啓発も進めていきたい。

(委員)

“雇用における男女平等の推進”のところ、どうして指標に市役所の方の時間外勤務の平均時間というものを持ってきたのかなとそもそも思いました。市役所で推進しているから他の企業もやってねっていう感じで持ってきたのですかね。そもそも時間外勤務時間をどうして男女平等推進の指標に持ってきたのか聞いていてちょっと不思議に思いました。具体的に数字が取りやすかったところはあと思う。次の計画策定の際は、こういったところも見直していくといいのかなと思う。市役所の中とはやっぱり違うと思うんですね。

(副委員長)

保育園みたいな現場は一体どうすればいいんだと思いながら聞いていた。

(委員)

学校職場の場合、役職やポジションで勤務時間が明らかに違っている。

(事務局)

私も友人に保育士がいるが、やはり持ち帰り仕事が常態化していて、旦那さんが超勤されると子供が小さい時は、自分も仕事を持ってきて家事をある程度やったらそっちをやらなくて思っているのだけれども、超勤されてくると本当に家の中が回らなくなるっていうふうにおっしゃっていた方がいらっしやいました。役所の中の女性を見る限りにおいては、女性の方が真面目にやろうとするので、どうしても深く掘り下げるといふか、そういったところで超勤が多いというところもありますし、やはり男性の方も子供をちょっと入浴させなきゃいけないので、一旦抜けさせてもらってそれで落ち着いてからまた戻ってきて超勤するっていうところもあります。市役所の中だけの状況が全体を示すっていうわけでは決してないと思うので、またアンケートの採り方を工夫していきたいと思います。

(副委員長)

難しいですね。仕事の勤務時間っていうことになると男性とか女性とかあんまり関係ない。それぞれの職場に関して、超勤時間の割合が違ってくると思うし、保育園からするとやっぱり仕事をしている皆さんに少しでも助けになるようにというところで朝、早朝保育をやり、夕方は延長保育をやり、その勤務体制をとるのに、正直な話保育士という人たちがなかなかいないところが切なく人員がない、資格を持っていないでも、保育補助さん、そういう人たちを見つけるのも今大変な状況下であって、やはりもう超勤超勤、正直なところもうそれがついてまわるんですね。だから、はたして男女平等というところのアンケート対象にして測っていくのか、なくさなくてもいいことなのかもしれませんが、これってどういうふうに考えるか悩んでしまった。

(事務局)

時間外勤務時間は、例えば男性でいえば家庭参画を阻害するものであり、女性目線でいえばキャリア形成を阻害するという部分で読み取れるものもある。なので、指標としてはなくすことはできないかもしれないが、男女別に時間を取るなど工夫していきたい。

(委員)

超勤の時間が女性もできるようになっていったらいいというわけではなく、みんなが超勤せずに成果を出せるような働き方ができると保育園にお迎えに行けるのも早くなって男性がお迎えに行けるかもしれないっていうところでみんな超勤せずにいけたらいいなって。大変難しい話だとは思

うんですけど、将来的な個人的な希望かなと思っています。

(委員長)

職場で注文があったので確認したいのだが、ハッピーパートナーとワーク・ライフ・バランスは事業所として奴奈川福祉会は両方とも登録してあるが、ハッピーパートナーは、事務局側から何らか調査のようなものはあるが、ワーク・ライフ・バランスは登録はしたものの、何もそういう動きがなく、登録をしたもののこれは一体何のためにみたいな話があったのでお伝えしたい。

(事務局)

両方とも新潟県の制度。ワーク・ライフ・バランスはもしかしたら条件の確認がないので、県の方もそんなに細かく確認しないのかなと考えられる。

(委員長)

介護業界も非常に人員不足なので、うまみはなくとも登録していますよっていうところで皆さん入っているようだが、PRポイントになるとありがたいなっていうのがあり、確認する場面があればお願いしたい。

(事務局)

確かに事業所も何らかのメリットがないとなかなかっていうところもあるかと思う。機会があれば県に要望していきたい。

(事務局)

ハッピーパートナー企業は、入札での優遇というところで建設業者さんの登録が多い。介護人材も不足しているなか、そういった観点からのメリットも考えてもらえないかなとの意見も昨年的一般質問でいただいているため県側に伝えていきたい。

(委員)

“子育て環境の満足度”がかなり下がっている。令和2年度が52%、令和4年度は32%と下がっている。そして、糸魚川市の出生率が下がっていて、昨年度は1年間で140人ぐらいしか生まれていない。かなり危機的な状況だと学校関係者から聞いている。

ひとり親で頑張っているママさんたちがたくさんいる。糸魚川市は、こども医療費助成制度が高校生まで延伸されて医療費は手厚くされているが、放課後児童クラブを活用した場合は就学援助世帯でも通常の費用を徴収されていて、ひとり親世帯にはもう少し援助を拡大してもらえないだろうか。非正規雇用が多く、生活していく上では働かなければいけないため、どうしても児童クラブに預けることになる。保育園では延長保育があるが、学校になると早い場合には3時には下校するため、3時間ほど預けることになる。利用料は一律6,000円だが、補助してもらえないかという話がある。また、発達障害を持っていると断られるケースがある。今、『また明日』という放課後デイサービスが東寺町にでき、重度なお子さんの受け皿ができたが、発達障害やADHD、自閉症スペクトラムなど、重度なお子さんとは軽度なお子さんの間のお子さんの受け皿がないと相談を受ける。就学援助世帯については、そういったところにも目をかけてもらえるとありがたい。

(事務局)

推進委員会で出た意見は庁内委員会に戻して、政策にどう反映できるか検討していくこととしている。庁内委員会には教育委員会こども課も入っているため意見を伝える。

基本目標Ⅲ

(委員)

重点目標と指標の整合性が取れていないものもある。それを補填するような説明だったりしてほしい。

(事務局)

指標の取り方については大変難しいところがあるかと思う。次回アンケート時、指標の取り方についても改めて検討したい。

(委員)

日本語セミナーは、コロナ過では外国人はやはり減った。令和6年では増えている。それより何より私が感じているのは、日本人配偶者の外国人の方が長く日本にいらっしや、ある程度生活はできているが、日本語がそれほど上手くなってないっていうか、生活できるから日本語は勉強しなくてもいいわって考えの方が多く、そうするとそのお子さんに影響が出て、日本にいてもいい職業に就けないというようなことがある。日本に長くいてももっと勉強する意欲を持ってほしい。横の繋がりがあって、それなりに生活していけちゃうので、もう勉強しなくてもいいわってというような考えになるのか、やっぱり母国への仕送りが優先になるのか。研修生とかである程度の年数日本にいて自国へ戻られる方は、仕事さえしていれば、日本語が上達しなくてもお国に帰ることができるが、日本に永住したいのなら勉強できる環境でいきたいと思う。

(委員長)

コロナの影響もあって全体的に数字が落ちてなかなか戻ってきていない。次のアンケートで以前より良くなるのか、もしかしたらもう変わらないまま低空飛行を続けてしまうのか。こんなところまで影響が出るのかという部分はある。

(委員)

要望的なものになるが、乳がん・子宮がん検診は命を守るために必要とっていて、もう一つ、受けられるようにしてほしい検査があって、卵巣予備能検査という AMH 検査というのがあるんですけど、女性ってもう卵子の数が決まっているらしくて、年々減って一方で増えることはないっていうのを知った時は衝撃でしたけど、この検査は大体今どれくらいの卵子が自分に残っているのかみたいなの、卵子の質まで分からないですけど数をチェックできる検査になっていて、これを知ることができるというまで仕事を、一旦は出産するのだが確実に仕事ができない期間があるわけで、いつまでに自分はどう働かなきゃいけないのか、どれぐらいまでキャリアアップしたいかみたいなのところを考える基準にもなるとっていて、結構都会の方だとブライダルチェックといって別に結婚するときにするものではないが、いつか子供を持ちたいなっていうふうに考えている人は受けた方がいいチェックができるんですけど、多分今、糸魚川では受けられるところはないかなと思うので調べたところちょっと見つからなかった。なので、ちょっと先になるかもしれませんが検討いただくと嬉しいなと思います。

6 その他

【主な質疑・意見等】

(委員)

一人暮らしで情報が入手できず、行政サービスについて何も知らない人が結構いらっしやる。話をしていて「それ何なの？」と言われることがある。情報社会だからいろいろ出ているはずだが、勉強不足というか、見落としているというかそういう方が多い。そこら辺をどうしてあげたらいいのかなと思っている。

(事務局)

地域によっては回数の違いはあるかもしれないが、一人暮らしの方には民生委員が定期的に訪問している。

(事務局)

最近、市内でも能生地区だと社協さんが中心になって、高齢者サロンを開いている。参加していただくのも、こういう情報を得る良い機会かなと思いますし、当課でも消費者行政をやっているのだが、今いろいろな詐欺の手法があるので、うちの相談員がそこに行ってお話をさせてもらったり、あるいは消費者協会の方が面白おかしく寸劇風にやったださったりという形でありますので、ぜひそういったものが地区にあれば顔を出していただくのも、いろいろな情報が入ってきていいのかなと思います。またご紹介ください。

(委員)

ほとんどの地域にサロンがあると思うが、私も先日、新戸にサロンを立ち上げた。そういうのをどんどん利用していただきたいが、利用すること自体わからない。そこら辺は社協の方をお願いしたりしている。

(事務局)

いろいろな形でご紹介いただけたらと思いますし、市の方でも周知に努めたい。

【事務局から】

(1) 糸魚川市人権教育啓発推進委員の推薦について

・本委員会の中から委員長と協議のうえ1名推薦することで了承を得る。

(2) 新潟県パートナーシップ制度について

(3) 報酬、費用弁償の支払いについて

7 閉会